

日本・インドネシア間のアマチュア無線資格の相互認証への動きについて

8月21日(土)、22日(日)に開催されたハムフェア2010の機会に、インドネシアのアマチュア無線連盟ORARIから、副会長のマニラ氏(YB0AA)をはじめとして11名が来日しました。

翌週の8月23日(月)には、JARL事務局への訪問を受け、日本・インドネシア間のアマチュア無線資格の相互認証を推進するために、ORARIはインドネシア通信省に、JARLは我が国の総務省に働きかけることで合意しました。

同日の午後には、ORARI幹部の総務省総合通信基盤局電波政策課への訪問にJARL職員も同行して、インドネシアと我が国の間におけるアマチュア無線資格の相互認証についての合意推進を陳情しました。

ORARIからは、「インドネシアと日本の間のアマチュア無線資格の相互認証については、1997年ごろ、2003年ごろと、過去に何度か合意に向けての努力がなされまし

たが、アジア経済危機等の影響で実現しませんでした。

しかし、インドネシアと日本両国間の関係は良好であり、人的交流も多くあります。また、2008年にはインドネシアの大統領と日本の首相がインドネシア・日本経済パートナーシップ合意を締結しています。

ORARIが、インドネシア通信省および外務省に働きかけ、日本とのアマチュア無線資格の相互認証を推進しました結果、インドネシア通信省と外務省も相互認証の推進で合意し、日本政府への書簡を準備しているところで」との説明をおこないました。

さらに、翌8月24日(火)にはインドネシア通信省のアマチュア無線主管部署の室長および課長が来日して、ORARI幹部とともに総務省電波政策課を再訪問し、両国間のアマチュア無線資格の相互認証についての合意推進に協力を要請しました。

総務省からは、外交ルートを通じての連絡を待って、他の国々とのアマチュア無線資格の相互認証合意と同様に行政手続きを進めたいとの回答を得ました。